

北海道帯広盲学校



学校だより

◆211◆

令和6年7月23日(火)発行

〒080-2475

帯広市西25条南2丁目9番地1

TEL 0155(37)2028

FAX 0155(37)3768

学校ホームページ <http://www.obihoro-sb.hokkaido-c.ed.jp>

1学期の教育活動を振り返って

校長 瘧師 輝幸

72日の登校日を振り返ります。

<始業式・入学式>

4月8日(月)に令和6年度がスタートしました。幼稚部3歳児学級に新たに2名の幼児が入学したことで、全校幼児児童生徒は8名となりました(前年度比1名増)。かわいい服を着た新入生と迎え入れる在校生はともに緊張している様子でしたが、少しずつ環境や学習・人に慣れていき元気で健やかに学びを進み始めました。

登校時、お母さんと離れたくないことでしばらくの間泣いていた新入生は、毎日笑顔で「いってきます」と言って教室に向かっています。

<避難訓練・防災給食>

5月14日(火)、学校で今年度最初の避難訓練を実施しました。通常であれば教頭先生が避難指示役となりますが、教頭先生の不在を想定して行いました。次回の訓練と万が一の時に向けて課題を整理できました。(同月21日に寄宿舎でも訓練を実施)

訓練時、帯広消防署の職員の方に来ていただき、実際の消防車に乗せてもらったり、いろいろな装備品を触らせてもらったりすることができました。

また、同じ日に備蓄食料を使った防災給食を提供しました。アルファ化米やフリーズドライのお味噌汁などを、自分で調理(熱いお湯を入れるなど)することも経験できました。

元旦に起きた「石川県能登半島沖地震」や6年前に起きた「北海道胆振東部地震」のような災害に備え、対応する力も必要となります。

<運動会>

6月8日(土)、晴天の中、体育館をメインに(徒競走のみグラウンド)して実施しました。子ども一人一人の好みやそれぞれが学習した内容を取り入れた競技では、子どもたち全員が活躍し、応援しているご家族や地域の方々、職員も終始拍手と笑顔が絶えませんでした。会場いっぱい広がって行ったラジオ体操とダンス「ブンブンパラダイス」では、小規模校とは思えないような人数と一体感で盛り上がりました。

<中学部宿泊研修>

一人だけの泊行事。事前学習に熱心に取り組み、色々なところを見学したり、体験したりすることができました。ちょっとしたハプニングもありましたが、臨機応変に対処できたのは、さすがの中学生!足寄町まで2時間以上もの間、路線バスに揺られ、他の乗客の様子や乗降車・運賃の支払いなども経

験することができました。

<学校公開>

気温の上昇が心配される中、7月3日(水)に地域の方々を参加対象とした「学校公開」を開催しました。当日は35名の参加があり、学校の概要と役割を聞いていただいた後、学習の様子や教材・補助具などを見ていただきました。参加していただいた方からは、指導・支援の手厚さや子どもたちが活発に活動しているときの笑顔や表情などについて、沢山の感想をいただきました。

<寄宿舎夏まつり>

7月8日(月)、体育館を会場にやぐら太鼓を設置して盛大に実施しました。お神輿を引いたあと、会場にいた全員で盆踊りをした際、舎生は交代しながら和太鼓を力強くたたいていました。踊りも練習した甲斐があり、上手に踊りながら周りの先生方にも教えてくれました。

いずれの行事においても、準備を含めた取組の成果が見られ、それぞれが出来るようになったり、上手になったりすることができ、子どもたちの表情には自信と満足感が満ちていたことに校長としてうれしく感じました。

その他の本校の動きをお伝えします。

昨年度、記録的な猛暑に見舞われましたが、5月に教室や舎室、職員が執務する部屋にウインドエアコンやスポットクーラーを設置しました。7月に入り蒸し暑さがあった日も、子どもたちは涼しい室内環境で学習や生活をする事が出来ています。校内では常に暑さ指数を計測し、基準に照らし合わせながら活動等の変更を検討することにしております。

昨年度から始まった「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」では、5月に今年度第1回目の会議を行いました。会議では学校の近況や活動計画を説明したあと、委員の方からご質問やご意見を伺いました。第2回の会議では、委員の方と事務局員(本校職員)が混じり合い、お互いの連携・協力についてグループ協議をする予定にしております。「地域が盲学校に出来ること」「盲学校が地域に貢献できること」をともに意見を交わしながら進めて参ります。

最後に、暑さ対策の一つとして、昨年度までよりも夏季休業期間を長く設定しております(今年度は、7月24日から8月25日まで)。しばらくの間、学校の中で子どもたちの声が聞けなくなってしまうのはさみしいですが、長くなった分、家族とともに充実した毎日を過ごして、貴重な経験につなげてくれることを期待しています。

2学期には少したくましくなった子どもたちと会えるのを楽しみにしています。

※教室や舎室に設置されたウインドエアコンやスポットクーラー



🌴🌻🦀☂️ 1学期を振り返って 🌴🌻🦀☂️

運動会

第61回帯広盲学校運動会が6月8日(土)に行われました。今年度の運動会のテーマは「全力 チーム わんだふる」。全校の幼児児童生徒で元気に入場行進した後、開会式を行いました。



開会式では校歌斉唱、校長挨拶の後、キャプテン2名で選手宣誓を行いました。ラジオ体操やリズム「ブンブンパラダイス」では保護者の皆様・来賓の皆様も一緒に参加していただき、全校一体となって活動することができました。



各学部の種目や、幼稚部の「かけっこ」、小中学部の「徒競走」等々、幼児児童生徒一人一人が全力で参加することができました。

児童生徒会会長・副会長を中心にみんなで力を合わせて楽しむことができた運動会でした。保護者の皆様・来賓の皆様たくさんの応援をありがとうございました。

(文責 吉田)

上幌内小学校との交流

6月26日(水)、鹿追町立上幌内小学校との交流学习が本校にて行われました。コロナ後の対面での交流学习は今回で5回目。本校での開催は、コロナ後3回目です。本校からは7名の幼児児童生徒、上幌内小学校からは9名の児童が参加しました。交流学习では自己紹介やゲームを行いました。普段はなかなか行うことが出来ない、大人数でのゲームができて、本校の子どもたちも上幌内の子どもたち



も、とても楽しそうに活動していました。また、昨年度に引き続き給食交流も行い、本校の給食をみんなでおいしくいただきました。残念ながら交流学习は今年度で終了となります。来年2月に行われる2回目の交流学习でも沢山の楽しい思い出を作ってほしいと思います。



(文責 穴戸)

宿泊学習

6月27日(木)から28日(金)まで、中学部宿泊研修が行われました。今年度は、帯広駅から2時間のバスに揺られ、足寄へ向かいました。

1日目は、道の駅で昼食を食べた後、ネイパル足寄で陶芸の創作活動を行いました。手のひら全体を使い、上手に細長い粘土を作って重ねることができま



した。苦手な作業も、最後までやりきることがで

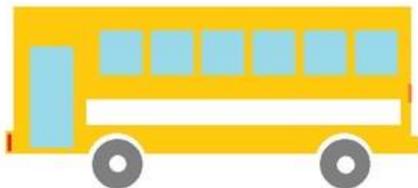
きました!できあがったものは、素焼きと本焼きを行うそうです。本当の完成は2~3ヶ月後。できあがりがとても楽しみです!

2日目の足寄は、前日を超える真夏日でしたが、ホテルで美味しい朝ご飯を食べ、活動先である足寄化石動物博物館へ出発しました。博物館内にある化石や鉱物の発掘体験ができる場所で、ミニ鉱物の発掘体験を行いました。地道に道具を使って掘り進め、見事水晶を掘り当てることができました!発掘体験後は館内の化石を見て回りました。化石の大きさにとても驚いていました。

宿泊研修最後の昼食は、自分で選んだとんかつ定食を食べました。ボリューム満点のお昼ご飯に、大満足の様子でした。

2日間を通して、進んで活動に取りかかり、集中して取り組む様子や嫌がることなく苦手なことに取り組む姿勢が見られ、とても成長を感じられた宿泊研修でした。

(文責 田口)





2学期の行事予定



8月	26日(月)	2学期始業式・二計測
	26日(月)～9月6日(金)	夏休み作品展
	29日(木)	全校集会・夏休み作品発表会
9月	2日(月)～6日(金)	視力測定週間
	9日(月)	文体連壮行会
	11日(水)～12日(木)	文体連
	17日(火)	二計測
	18日(水)	幼小中合同体験学習
	24日(火)	一日防災学校
	26日(木)	全校集会
	27日(金)	授業参観
	27日(金)～10月4日(金)	個別懇談週間
10月	1日(火)～2日(水)	小学部見学旅行
	3日(木)	全校集会
	15日(火)	二計測
	24日(木)	学習発表会総練習(5時間授業)
	26日(土)	学習発表会
	28日(月)	振替休業日
11月	12日(火)	二計測
	15日(金)	(休業日)道視研
	21日(木)	全校集会
	25日(月)～12月6日(金)	教育実習
12月	10日(火)	二計測
	12日(木)	全校交流会
	16日(月)～20日(金)	大掃除週間
	24日(火)	終業式・授業参観・学級懇談 給食試食会



北海道子ども相談支援センターの相談窓口

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/ijjimednwasoudan.htm>



・電話相談 0120-3882-56 / メール相談 sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

海で遊ぶときは お子様へ手の届く場所で！ 目を離さないで！

北海道では、過去5年に48名の方が遊泳中の事故に遭っており、その約半数が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

海水浴など、水辺での活動は、子供から目を離さないことはもちろん、子供に危険が迫った時、すぐに助けられる場所で、安全に十分配慮してください。

遊泳中の事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」を必ず利用してください。

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

事前に海水浴場の情報を調べてください。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があります。悪天候では予定を変更する勇気も必要です。子供との大切な約束かもしれませんが、命には代えられません。

離岸流など、海特有の現象も知っておくことが大切です。

●お子様をそばで見守り、無謀な行動はさせない

溺れるときは一瞬、音もなく静かに沈みます。子供のピンチを見逃さず、笑顔で帰宅してください。準備運動、適度な休憩も大切です。

大人も子供も、救命胴衣（ライフジャケット）などで命を守る備えをしてください。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制を確保してください。海での緊急通報は118番です。



マリンレジャーの安全情報が掲載されています。



海上保安官

のいろいろなしごと

YouTube

北海道教育委員会

第一管区海上保安本部